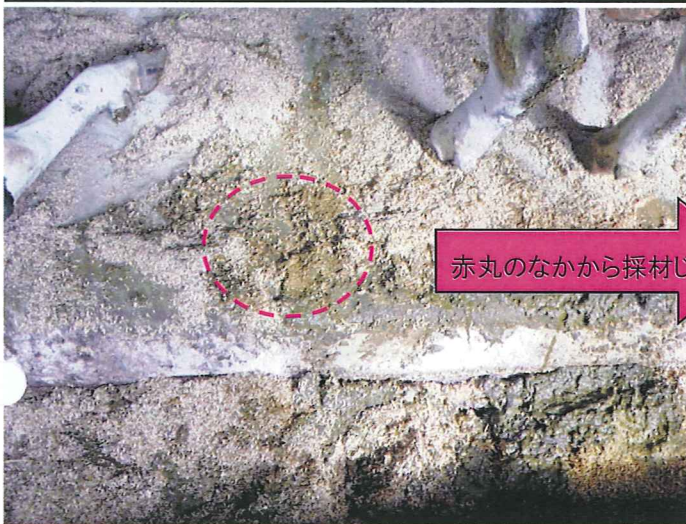


坂本龍馬も納得！

# ベッドの除糞・・・ そのやり方ではまずい ゼヨ！



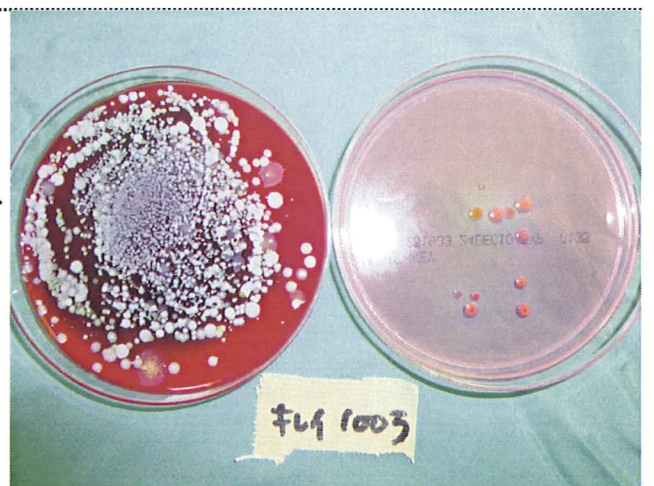
ベッドが汚れたから除糞してキレイにするがゼヨ！  
ところでベッドのうしろの糞尿で汚れた場所の敷き料  
にはどんくらいバイ菌がおるがか知っちゃうかい？  
さっそく採取して細菌培養してみたぜヨ！



赤い培地に生えているのはブドウ球菌・レンサ球菌  
大腸菌などゼヨ！右の培地は大腸菌のみが生える  
培地ゼヨ！ 100万倍希釈した培養結果なので  
ブドウ球菌・レンサ球菌は敷き料1g中に数億ヶ、  
大腸菌は数千万ヶいるがゼヨ！



除糞のあとはベッドの前のほうにあるキレイな敷き料  
をよせてきて・・・でもこの敷き料ってホントにきれい  
なんじゃろうかいの？



大変じゃ～！ウンコまみれの敷き料と変わらんくらい  
のバイ菌がウジャウジャでてるぜヨ！見た目がキレイ  
でもこれじゃベッド清掃の意味がないがゼヨ！  
見た目で騙されてはならんがはおなごと同じじゃ！

乳房炎感染は牛の健康状態、汚染環境、ミルクカー、搾乳手技などいくつかの要因がからみあった結果おこりますが、敷き料中の細菌数コントロールも注意すべきポイントになります。大腸菌に関しては敷き料1g中に100万ヶ以上になると新規感染リスクが非常に高くなると言われています。上の写真では見た目で汚れているところはもちろん非常に多くの乳房炎原因菌が含まれていますが、見た目はキレイで乾燥している敷き料中からもほとんど変わらない位の数・種類の菌ができました。ベッド掃除は多くの農家で「汚れたところを掃き落とし、ベッド上のキレイな敷き料を寄せてくる。」という手順でおこなわれており、見た目は衛生的に管理されていますが細菌学的には非常に問題ありです。特に夏場や粗飼料悪化時など感染リスクの高いタイミングでは乳房付近の敷き料をベッド上から寄せてくるのではなく、フレッシュなものを消石灰と一緒に撒くなど工夫することで乳房炎感染リスクを少しでも下げることができると思います。

※ベディングカルチャー(敷き料中の細菌の種類と数の培養検査) 当社で実施中！